

2023 年 9 月 22 日

(株)アガペ介護事業部 古中部長
エリアマネージャー・施設長 各位

日本消防・防災デザイン(株)
防災デザイナー 小森

消防・防災訓練実施報告の件（講評）

9 月に実施しました消防総合設備総検、および法定消防・防災訓練（BCP 発動）のご報告をいたします。今回は、地震発災後の役割分担を行い入居者・利用者・職員の安否確認後の施設安全確認・避難誘導の動線と対策本部の機能を確認する対応行動を下記の通り実施しました。

記

1. アソシエ大樹

情報班より対策本部へ施設損害がないと報告があり、施設長の判断により入居者の避難は必要なし、避難しない避難の対応を確認する。（非常階段から車いすを下さない）



2. アソシエ中尾

2 回目の BCP 訓練となり各班の行動をチェック後、避難ルート・避難はしごの確認と非常階段から車いすを下ろす手順の確認を行う。



3. アソシエ飯倉

前回避難誘導・感染症対策として嘔吐処理方法の実技訓練を実施していた。

今回は BCP 内容、および施設内設備の確認し共有する。



4. アソシエ南庄

水害指定区域のため施設内設備確認と避難確保計画に準じた垂直避難時の職員の
参集基準を明確にするよう共有し浸水対策の検討を行う。



5. アソシエ野間大池

大池の訓練に町内会長・自主防災会の役員の方が参加して施設設備と認知症の方
の避難経路の確認を一緒に行う。災害時には地域密着型
施設として南区で初のモデル施設として地域の防災訓練
にも一緒に行うことを確認する。



6. デイサービスセンター野間

デイ利用者に VR 画像での正面玄関以外の避難経路の説明を行い、職員にも同じ
内容を共有する。第一避難場所の駐車場が近隣の幼稚園
児の避難場所と被るため園長先生と後日協議を行う
予定。(10月10日)



7. シニアハウスよろず庵

消防署と連携して入居者安否確認、およびデイ利用者避難対応訓練を実施する
安否確認が取れた入居者は居室名札を取ってきて本部へ報告、同時にデイは利用者全員を一時避難場所へ退避させる。退避後のデイルームの逃げ遅れ者がいないか確認も素早く主任が実施する。



8. アソシエ御島崎

入居者の安否確認は養生テープをドアに張り本部へ報告、退避が必要と判断し入居者を非常階段から一時避難場所へ誘導する。デイ利用者には避難場所の確認と地震対応訓練を実施する。



9. アソシエ和白

施設内設備と役割の対応を確認し、2F 入居者を外階段から一時避難場所の公園までの避難手順を実施する。地域と「こども食堂」を開催しているので防災訓練も一緒に行い一人夜勤時の支援依頼ができるよう今後協議する。



10. 総評

実施条件は同じでも施設の訓練対応が違うため点数評価は出来ませんでしたが、災害に対する意識は高まっていて対応レベルは他法人より優れています。その中でシニアハウスよろず庵のスタッフの対応行動はとても優れていました。

一度も実行したことが無ければ何も行動できません。繰り返し訓練を行いましょう。次回 3 月の訓練は全職員参集条件で施設の入居者・利用者全員を一時退避させる訓練計画を立てたいと思います。どうぞご理解・協力の程よろしくお願いいたします。

以上